

南砺市連合婦人会だより

第20号

南砺市連合婦人会 発行責任者 長谷川邦子 平成27年3月1日発行

家庭教育

研究集会

8月24日(日) 午前
福野玉成会館2階
参加者 67名

テーマ 『ごみダイエツトできることから始めよう』

南砺市においてゴミにかかる経費が多い事や、環境の事も踏まえ、食品ロスについて学習し、生活の中での知恵やアイデアを話し合いました。

第1部の基調講演では、富山県生活環境文化部環境政策課の村澤武洋氏による富山県内の「ゴミの排出状況」や家庭で出来る「生ゴミ」「食品ロス」の削減の取り組みについてたいへん解りやすく、ユニークに説明していただきました。

特に水に濡れた生ゴミは、乾燥させた生ゴミに比べ、焼却場で燃えにくくなるし、燃やすのに無駄なエネルギーを使うという事で、乾燥による減量の効果を教わりました。

また富山県の最終処分場の残余容量が十分でないとき、ゴミの事を真剣に考えていかなければならないと思いました。

第2部では『私の活動紹介します』として日頃、ゴミダイエツトに取り組んでいる事例を参加者から発表してもらいました。

①週末に冷蔵庫の中のチェック、食材の確認、食べ残しの確認

②買い物に行くときは冷蔵庫の中を見てから：

③食事の準備中に出た生ゴミは、一時的に水切りをし、毎日まとめてコンポストに入れる。



第3部では、7グループに分かれ「ゴミダイエツト、何が出来るか考えよう」と題して討議し、全体会で発表しました。



たくさんの方の知恵、意見が出た中で好評だったもの一つに、薬味保存パック（サル付き、水切り保存）が提評されました。これからも、継続、愛用していきたいと思いました。

★ネギ、しょうがを買ってきたら、みじんぎりやすりおろしにし、薬味保存パックに入れておく。冷蔵庫で1週間ほど保存出来ます。小分けして、冷凍も可。

そのほかにも、ゴミ減量に対する色々な方法を紹介され、ゴミダイエツトの意識向上が図られました。

この研究集会により『食品ロス』の削減がゴミの減量化になり、ひいては二酸化炭素排出量削減にもなり環境にやさしい社会を作っていくものと確信しました。



